

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成28年11月4日

【四半期会計期間】 第71期第2四半期(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

【会社名】 ペガサスミシン製造株式会社

【英訳名】 PEGASUS SEWING MACHINE MFG. CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 美馬成望

【本店の所在の場所】 大阪市福島区鷺洲五丁目7-2

【電話番号】 06-6451-1351

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長 吉田泰三

【最寄りの連絡場所】 大阪市福島区鷺洲五丁目7-2

【電話番号】 06-6451-1351

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長 吉田泰三

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第2四半期 連結累計期間	第71期 第2四半期 連結累計期間	第70期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (千円)	9,757,963	10,151,648	19,188,876
経常利益 (千円)	1,124,904	1,282,933	2,388,779
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	854,547	906,597	2,160,326
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,065,993	1,930,580	1,491,055
純資産額 (千円)	20,660,205	18,691,918	20,911,649
総資産額 (千円)	29,980,677	25,777,850	29,237,973
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	34.44	36.54	87.07
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	66.5	70.3	69.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,281,293	683,181	2,314,980
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	744,230	131,651	1,264,345
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,142,630	746,797	1,840,645
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	5,863,398	5,144,710	5,598,529

回次	第70期 第2四半期 連結会計期間	第71期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	17.66	20.45

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、円高が進行したことや世界経済の先行き不透明感などから企業収益や個人消費は力強さを欠き、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。世界経済につきましては、米国経済は雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、欧州経済は英国のEU離脱問題が懸念されているものの緩やかな回復が続きましたが、中国をはじめ新興国では景気が減速していることにより先行き不透明な状況が続いております。

工業用ミシンにつきましては、繊維産業の集積地であった中国からその他のアジアや消費地に近い国々へ縫製拠点を移転させる動きが継続しており、バングラデシュやインドなどアジア市場を中心に需要が堅調に推移いたしました。自動車部品を中心とするダイカスト部品につきましては、一部にばらつきが見られるものの総じて需要が底堅く推移いたしました。

このような環境のもとで、当第2四半期連結累計期間の売上高は101億51百万円（前年同四半期比4.0%増）となり、営業利益は16億77百万円（前年同四半期比63.3%増）、経常利益は円高による外貨建資産の評価替により為替差損が発生したことなどから12億82百万円（前年同四半期比14.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億6百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（工業用ミシン）

工業用ミシンにつきましては、引き続き縫製産地の流動化に応じた販売戦略の展開に努めたほか、高級機種需要など市場のニーズに対応した生産体制の整備をした結果、売上高88億39百万円（前年同四半期比5.2%増）、営業利益20億12百万円（前年同四半期比46.9%増）となりました。

（ダイカスト部品）

ダイカスト部品につきましては、販路の拡大に向けた販売活動を行い需要は底堅く推移いたしました。円高の影響により売上高13億12百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。営業利益はベトナム拠点の操業度の向上などにより1億81百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ34億60百万円減少し、257億77百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて23億72百万円減少し、192億20百万円となりました。これは、現金及び預金が9億7百万円、商品及び製品が6億98百万円、受取手形及び売掛金が6億9百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて10億87百万円減少し、65億56百万円となりました。これは、有形固定資産が9億26百万円減少したことなどによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3億23百万円減少し、52億37百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3億29百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ9億16百万円減少し、18億48百万円となりました。これは、長期借入金が5億97百万円、社債が2億62百万円それぞれ減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて22億19百万円減少し、186億91百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が27億13百万円減少し、利益剰余金が6億58百万円増加したことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前年同四半期連結累計期間末に比べ7億18百万円減少し、51億44百万円（前年同四半期末比12.3%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、6億83百万円（前年同四半期末比46.7%減）となりました。これは主に、たな卸資産の増加6億円、法人税等の支払額3億49百万円、売上債権の増加1億43百万円などがあつたものの、税金等調整前四半期純利益が13億27百万円であり、減価償却費3億19百万円、仕入債務の増加2億76百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、1億31百万円（前年同四半期は7億44百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出13億22百万円、有形固定資産の取得による支出1億74百万円などがあつたものの、定期預金の払戻による収入15億12百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、7億46百万円（前年同四半期末比34.6%減）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出3億19百万円、配当金の支払額2億48百万円、社債の償還による支出2億7百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間においては、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社企業グループ全体の研究開発活動の金額は、1億81百万円でありま

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	76,928,000
計	76,928,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年11月4日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	24,828,600	24,828,600	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	24,828,600	24,828,600		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年9月30日		24,828,600		2,255,553		2,158,010

(6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	2,143	8.63
株式会社美馬	兵庫県西宮市甲陽園西山町6-27-314	1,553	6.26
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	830	3.34
板東敬三	兵庫県西宮市	742	2.99
吉田隆子	京都市左京区	709	2.86
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	698	2.81
美馬成望	兵庫県西宮市	650	2.62
ペガサスミシン従業員持株会	大阪府大阪市福島区鷺洲五丁目7-2	513	2.07
美馬正道	大阪府八尾市	470	1.89
板東雄大	大阪府豊中市	469	1.89
計		8,781	35.37

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 17,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,808,400	248,084	
単元未満株式	普通株式 2,300		
発行済株式総数	24,828,600		
総株主の議決権		248,084	

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ペガサスミシン製造 株式会社	大阪市福島区鷺洲 五丁目7-2	17,900		17,900	0.07
計		17,900		17,900	0.07

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,237,901	6,330,246
受取手形及び売掛金	4,969,171	4,359,249
有価証券	91,440	
商品及び製品	4,145,450	3,447,387
仕掛品	820,721	756,810
原材料及び貯蔵品	3,538,407	3,666,462
その他	934,800	775,713
貸倒引当金	144,230	114,919
流動資産合計	21,593,662	19,220,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,430,286	2,859,991
その他(純額)	2,955,629	2,599,139
有形固定資産合計	6,385,916	5,459,131
無形固定資産		
投資その他の資産	704,540	580,102
固定資産合計	553,853	517,665
固定資産合計	7,644,310	6,556,899
資産合計	29,237,973	25,777,850
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,937,489	1,607,820
短期借入金	1,192,901	1,168,977
未払法人税等	640,255	552,056
賞与引当金	165,229	173,508
その他	1,624,919	1,734,895
流動負債合計	5,560,795	5,237,258
固定負債		
社債	865,100	602,200
長期借入金	936,855	339,260
退職給付に係る負債	677,913	662,222
その他	285,659	244,991
固定負債合計	2,765,527	1,848,673
負債合計	8,326,323	7,085,932

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,983,084	2,983,084
利益剰余金	12,131,010	12,789,501
自己株式	5,350	5,350
株主資本合計	17,364,297	18,022,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,087	16,280
為替換算調整勘定	2,983,737	270,645
退職給付に係る調整累計額	176,002	158,547
その他の包括利益累計額合計	2,840,822	95,817
非支配株主持分	706,529	573,312
純資産合計	20,911,649	18,691,918
負債純資産合計	29,237,973	25,777,850

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,757,963	10,151,648
売上原価	6,502,802	6,155,139
売上総利益	3,255,161	3,996,508
販売費及び一般管理費	1 2,227,573	1 2,318,745
営業利益	1,027,587	1,677,762
営業外収益		
受取利息	49,465	36,802
受取配当金	6,824	3,837
為替差益	79,902	
不動産賃貸料	5,601	3,071
その他	11,400	7,506
営業外収益合計	153,194	51,217
営業外費用		
支払利息	39,788	31,198
為替差損		409,258
不動産賃貸費用	3,704	2,934
その他	12,384	2,654
営業外費用合計	55,877	446,046
経常利益	1,124,904	1,282,933
特別利益		
固定資産売却益	759	586
投資有価証券売却益		3,818
投資有価証券償還益		39,770
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	19,241	
特別利益合計	20,000	44,175
特別損失		
固定資産売却損	73	
特別損失合計	73	
税金等調整前四半期純利益	1,144,831	1,327,109
法人税、住民税及び事業税	312,664	335,159
法人税等調整額	40,005	44,687
法人税等合計	272,659	379,847
四半期純利益	872,172	947,262
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,624	40,664
親会社株主に帰属する四半期純利益	854,547	906,597

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	872,172	947,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,408	49,368
為替換算調整勘定	227,722	2,845,929
退職給付に係る調整額	12,507	17,455
その他の包括利益合計	193,821	2,877,842
四半期包括利益	1,065,993	1,930,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,033,639	1,838,407
非支配株主に係る四半期包括利益	32,354	92,173

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,144,831	1,327,109
減価償却費	307,128	319,161
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,841	7,927
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	6,063	10,572
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	16,598	
デリバティブ評価損益(は益)	3,802	
受取利息及び受取配当金	56,289	40,640
支払利息	39,788	31,198
為替差損益(は益)	11,872	123,511
受取賃貸料	5,601	3,071
不動産賃貸費用	1,128	657
固定資産売却損益(は益)	685	586
投資有価証券売却損益(は益)		3,818
投資有価証券償還損益(は益)		39,770
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	19,241	
売上債権の増減額(は増加)	555,026	143,049
たな卸資産の増減額(は増加)	187,694	600,171
仕入債務の増減額(は減少)	486,834	276,045
未払金の増減額(は減少)	1,804	120,037
その他	20,144	125,438
小計	1,517,850	996,796
利息及び配当金の受取額	45,072	64,867
利息の支払額	35,220	29,403
法人税等の支払額	246,408	349,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,281,293	683,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,543,293	1,322,397
定期預金の払戻による収入	1,086,615	1,512,567
有形固定資産の取得による支出	283,271	174,894
有形固定資産の売却による収入	6,012	3,588
無形固定資産の取得による支出	4,930	4,578
投資有価証券の取得による支出	124,578	
投資有価証券の売却による収入		43,541
投資有価証券の償還による収入	129,810	85,130
その他	10,595	11,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	744,230	131,651

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	220,070	75,000
長期借入金の返済による支出	419,544	319,927
社債の償還による支出	245,180	207,140
配当金の支払額	198,485	248,106
非支配株主への配当金の支払額	42,494	41,042
その他	16,856	5,581
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,142,630	746,797
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,244	521,855
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	626,812	453,819
現金及び現金同等物の期首残高	6,490,211	5,598,529
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 5,863,398	1 5,144,710

【注記事項】

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。 なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
給料及び手当	484,069千円	509,598千円
賞与引当金繰入額	68,782 "	70,007 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
現金及び預金	7,438,434千円	6,330,246千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	1,575,035 "	1,185,536 "
現金及び現金同等物	5,863,398千円	5,144,710千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月23日 定時株主総会	普通株式	198,485	8.00	平成27年3月31日	平成27年6月24日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、創業100周年記念配当2円を含んでおります。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年10月29日 取締役会	普通株式	173,674	7.00	平成27年9月30日	平成27年11月25日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月21日 定時株主総会	普通株式	248,106	10.00	平成28年3月31日	平成28年6月22日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、上場10周年記念配当3円を含んでおります。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年10月27日 取締役会	普通株式	248,106	10.00	平成28年9月30日	平成28年11月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,403,669	1,354,293	9,757,963		9,757,963
セグメント間の内部売上 又は振替高					
計	8,403,669	1,354,293	9,757,963		9,757,963
セグメント利益	1,369,959	164,623	1,534,583	506,996	1,027,587

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,839,575	1,312,072	10,151,648		10,151,648
セグメント間の内部売上 又は振替高					
計	8,839,575	1,312,072	10,151,648		10,151,648
セグメント利益	2,012,247	181,731	2,193,978	516,216	1,677,762

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	34円44銭	36円54銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	854,547	906,597
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	854,547	906,597
普通株式の期中平均株式数(株)	24,810,656	24,810,656

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

第71期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)中間配当について、平成28年10月27日開催の取締役会において、平成28年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	248百万円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成28年11月25日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月2日

ペガサスミシン製造株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石 井 尚 志 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡 田 明 広 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているペガサスミシン製造株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ペガサスミシン製造株式会社及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。